

日本労働組合會議第四回執行委員會

議案書記局案

第一號議案

ソビエタル、ダンピング問題に対する態度の決定今日
世界の問題となつてゐる我々商品の洪水の如き海

外進出の要素を我々はたの如くに見て居る

(1) 円貨の歳蓄安 (2) 低賃銀と長時間労働

(3) 労働者の勤勉 (4) 優秀なる生産技術

(5) 輸送貿易に対する政府の各種補助

しかしながら右記せる諸要素のうち(1)円貨の歳蓄安問
題を除けば他の諸要素は今日俄かに惹起せるものか非
ずレマ以前より存在せるものである。

又円貨の歳蓄安の問題も英米両国に於てブロッツの經濟
政策樹立の爲めに必要なる條件として計畫的の實施せる
金本位の離脱又は平價切下げ等の如く意識的乃至計畫

的に採用されたる貨幣政策の結果に非ずして先年我々
政府が金輸出禁止も断行せる結果として我々貨幣に対す
る海外信用が下落せる自然的現象である。

従つて今日見る日本商品の海外市場への進出露形態
を以て直ちソビエタル、ダンピングなりとすることに相
当の疑点が存するものと思はなくてはならない、況んや日
本商品の海外進出の最大要素を低廉労働の一点に帰せし
とする事は不当なりと云ふ事は末ないかも分らないが
その批判のうちには岁大の誇張と偏見の存在する事も
我々は認むるものがある。

しかしながら我々國産業の労働條件が欧米工業諸國の
それと比し着し低分なる事は世間周知の事実である殊に
今日ソビエタル、ダンピング問題の焦点である輸送産業
の大部分が中小工業乃至家内工業の生産過程を経たる産
物なるを知るべきしかも此の種工業に於ける労働者の大部
分は工場法の保護法規すら適用されざる現状を見るべき